

海の観光拠点整備事業の概要について

(事業の目的)

大山町は、国立公園大山を有しており、大山登山や大山スキー場などの山の資源を中心とした観光産業で賑わいを創出してきましたが、現在は利用者ニーズの変化や雪不足などの影響もあり、山側だけではなく海側も含めた賑わい創出が課題となっています。大山町は、海拔0mから1729mまで豊かな自然環境がまちの魅力のひとつです。大山町のこの豊かな自然環境を生かして海と山をつなぐ町内周遊観光と海側での体験・滞在型観光の推進による地域活性化を図るため、海側観光の魅力を生かし、山側との観光交流軸の構築を図る海の観光拠点整備を行います。

(新しい拠点への期待や見込まれる効果)

- 海の資源の活用により海側観光の魅力が創出され利用者数の増加が見込まれる。
- 大山に集中する観光客の海側への動線が生まれると同時に海側から山側への動線が生まれることで周遊性が高まり滞在時間の延長が図られる。
- 海側のアクティビティをはじめとする海側観光のハブ機能を果たすことが期待される。
- 観光客だけではなく地域ニーズを踏まえることにより住民の交流や楽しむ機会を創出する。
- 海側観光の魅力創出による観光事業の新たな担い手や雇用が見込まれる。
- 拠点整備による利用者の増加が地域への経済波及効果を高めることが期待される。

(拠点整備の現時点の検討状況)

- ・拠点整備は御来屋漁港での実施を検討しています。
- ・お魚センターみくりやの一部機能（水産物直売所・地魚料理恵比寿）を新しい拠点施設へ移転することを検討しています。
- ・お魚センターみくりやは取り壊さずに活用方法を検討するとしています。
- ・サイクリングや海のアクティビティ利用者向けの受入設備やその他の海の観光拠点に必要な機能・サービスを検討しています。



(事業に関連する主な計画等)

- ・大山町総合計画（大山町未来づくり10年プラン）
 - ・大山町アウトドアライフ構想
 - ・大山町観光戦略
 - ・第2期大山町ひと・暮らし・しごと創生総合戦略
- ※詳細は大山町役場ホームページをご覧ください。

(事業スケジュール)

※見込みであり確定したものではありません。

令和4年度	基本計画作成
令和5年度	建築設計
令和6～7年度	拠点整備工事
令和8年度	オープン

(事業計画位置図)



▲ 御来屋漁港周辺位置関係



▲ 御来屋漁港（赤枠内の活用方法を検討）